

ご提案① 現行制度のもとで設置が義務付けられているハードウェアの「タクシーメーター」から「ソフトメーター」に移行することで投資費用を削減、さらに柔軟なタクシー運賃を実現できないか。2019年までに。



現行タクシーメーター

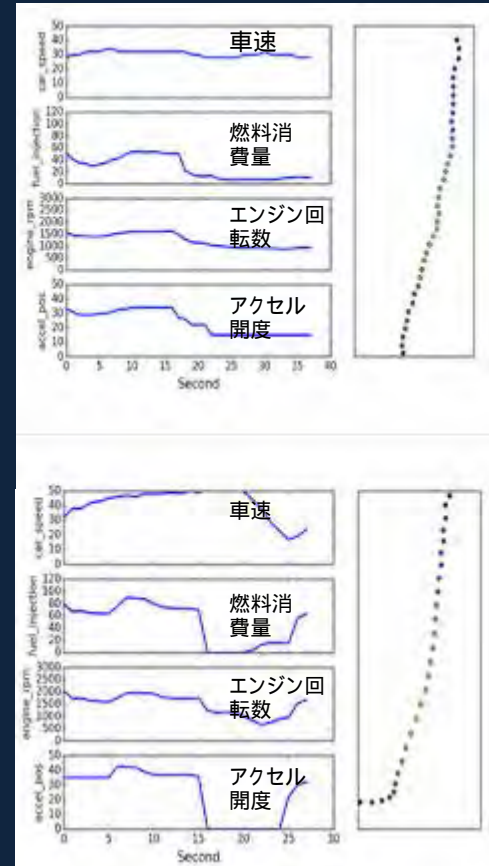
- ・初期投資20万円
- ・検定に毎年車両を持ち込み+0.5万円
- ・運賃変更には1台ごとに手作業+2万円

# ご提案② 「ドライバーアプリ」で乗務員の生産性を向上するとともに、運行管理・労務管理のデジタル化を進められないか。



## AI配車

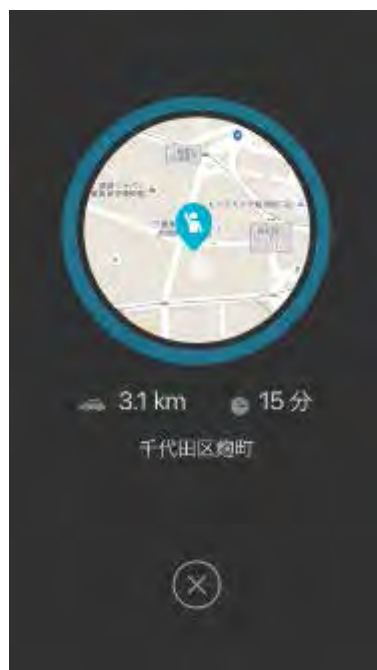
ビッグデータ(過去)とリアルタイムデータのミックスにより顧客位置を予測し、流し営業の効率アップ



## AI労務管理

車載デバイスからのリアルタイムデータで、労働時間や安全運転を促進

ドライバーアプリを3月1日にまず京都からリリース、年内に各地に展開予定



## ドライバーアプリと同時に2017年中に乗務員のレーティングを強化する

